

会報

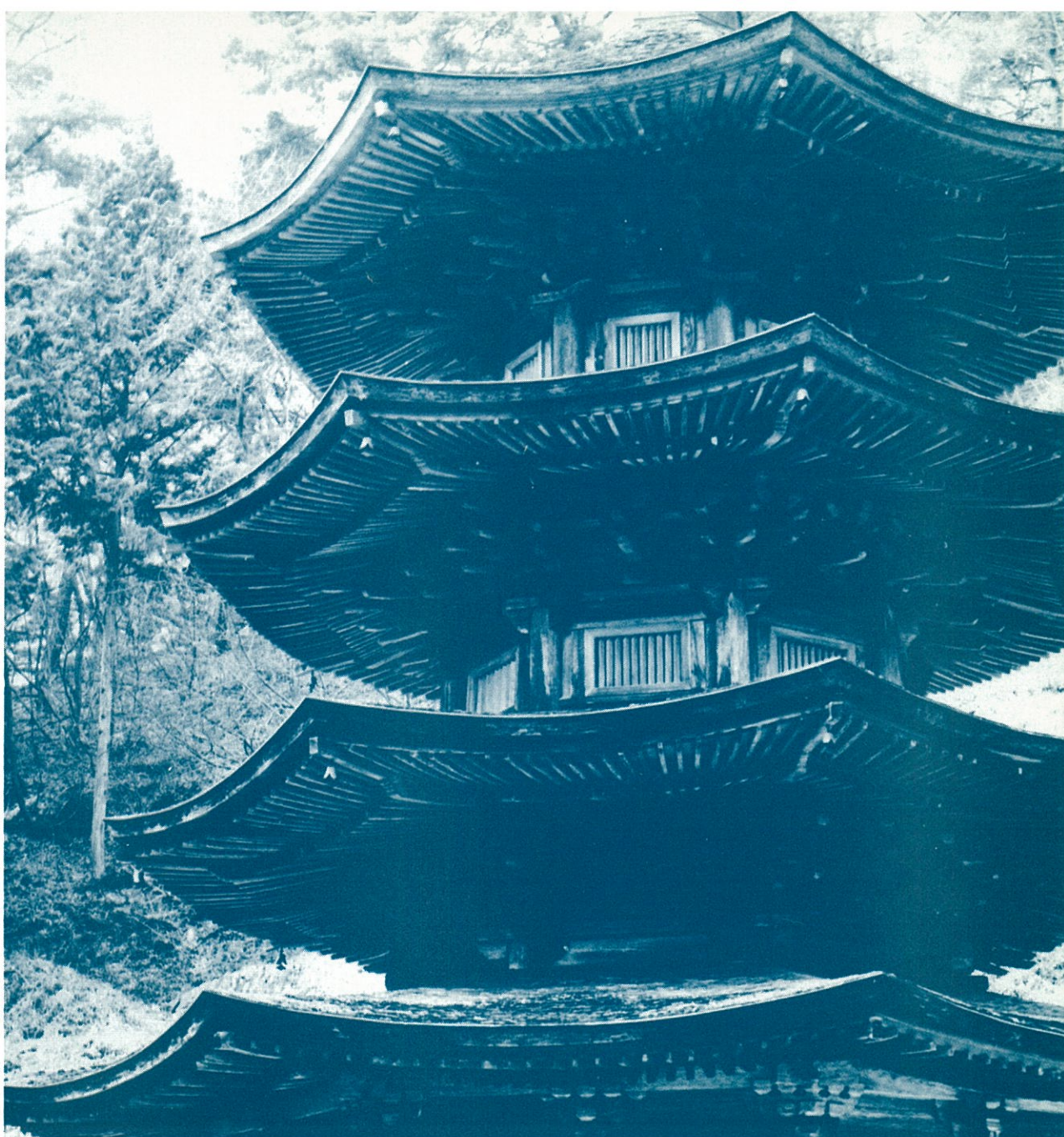
1984/NO.7

昭和59年 7月28日発行

長野県建築設計監理協会

長野県建築設計監理協会事務局＝

〒380 長野市南長野妻科426-1 長野県建築士会館



も く じ

決断力と協力	桜井 三朗	3
設監協NEWS		4
建築紀行「ストックホルムを訪ねて」	小松 蒼	6
塩田平「鎌倉文化と遺跡(二)」	上田市観光課	8
《会員事務所作品紹介》——エア・ハイツ建築設計事務所		10
テクニカルシート	東芝・滝沢家具	12
東日本連絡協議会総会に出席して	宮本 忠長	14
ずいひつ◇オジジの顔と私の鼻	常田富士男	15
業界チャンネル		16

■表紙 安楽寺八角三重塔(国宝=上田市)

上田市別所温泉にある全国で唯一の八角三重塔。純粋な禅宗様式で建築されており、一見四層に見えるのは、一層に裳階(ひさし)がついているため。造立はおおよそ鎌倉時代末から、室町初期のものと推定される。

決断力と協力

桜井三郎



先日のこと、用事があって下町に行った。32年も前に2級建築士の資格を得て初めて勤務した、なつかしい場所である。私は門のそばにある車庫を見るたびに、何か複雑な感じに襲われたものだった。ある日、その車庫が屋根に手を加えられ変わっていたのである。それを見て私は、ちょっとほっとした気持ちになった。一体なぜだろう。

あの頃私は相談する人もなく、乏しい知識と経験を基にして苦心して図面を書き、見積発注して完成するまでを任されたのである。どうやら図面どおりにでき上がったのだが、どうも気に入らない。思っていたイメージと違う気がして、どうもいやな感じしかもてなかったのである。それが姿を変えていたので、何となくほっとしたのではないだろうか。

そのとき、経験を積むことの必要さ、勉強の大事なことを痛感した。私は日頃できるだけ機会をみて旅をしてきた。初めての土地へ行き、その地の人情、風景、しきたりにふれ、人々の生活の知恵に感心することもたびたびであった。名所、遺跡を訪ね、その時代を考え、社会的背景を考えるのもなかなか楽しいものである。

私達の設計の仕事は、いつどんな種類の建物を与えられるかわからない。どんな仕事を依頼されても、基礎的な調査研究をすることからスタートすることには変わりがない。したがって、何か後日役に立つようなことは何でもよいから食欲にストックしておきたいものだ。

基礎的な段階が終わると、使用材料、機能的な面、建設場所の気象条

件、建設資金その他……あらゆるものを考慮しながら、本格的に設計にかかるのである。そして最初に計画したものが2年経って、物によっては5年経ってから、初めて実物としてでき上がることもある。とにかく検査が済み竣工したときの喜びは、味わった者でなければわからないのであろう。

しかし、建物はでき上がれば少なくとも50年位はそこに姿があり使用されていくと思うと、何かこわいような気さえする。時代が変わり、使用する人が変わり、考え方が変わっても、設計者の意図が理解してもらえるような建物を設計したいものと努力している。

このようにして個々の建物は造られるが、今後の大きな問題はむしろ個々の集合体である都市そのものであり、交通網であるといえるのではないか。既に老朽化して現代に合致しない都市が多くなりつつあるように思われる現在、今後の都市開発は重要な課題であろう。行政理事者側の決断力と住民の協力があってこそ、都市開発は可能と思われる。

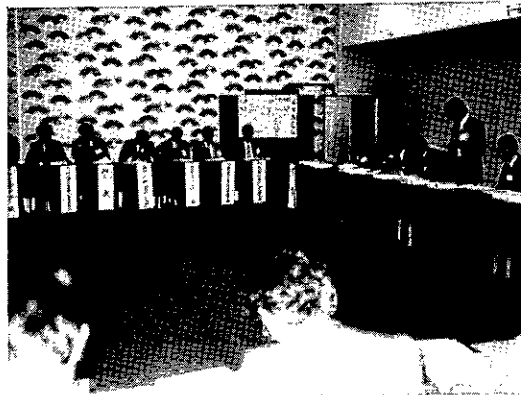
両者のそうした努力がないとするなら、都市開発は遅々として進まない。個々の造り替えの集積が都市開発だとしても、それは天文学的時間が必要であることは論をまたないところである。

(桜井三郎一級建築士事務所所長)

第16回通常総会開かる

昭和59年度第16回通常総会が、去る6月5日(火)午前11時より長野市の長野国際会館に於て開催された。伊藤副会長の開会のことばで始まり、次いで宮本会長が挨拶。58年度に発足した技術交流会が内外共に好評価を得ていることに対して、賛助会員に感謝の意を表し今後の協力を願うと共に、今後も職能の確立を目指したい旨を強調した。また、設計の組織を大切にす意味で、所員部会を発足させたい旨の希望を述べた。続いて、第1号議案から第6号議案までが承認され、1時間余りの議事は終了した。

当日は、来賓として長野県住宅部長・奥原昭人氏、同県建築管理課・林市松氏、信州大学建築工学科教授・笹川明氏、(社)長野県建築士会会長・伊藤宗春氏、



(社)長野県建設業協会会長・松林好助氏、(社)長野県電設業協会副会長・日極兼次氏、(社)長野県管工事設備工業協会会長・金澤久蔵氏、(社)長野県建設工業新聞社代表取締役・伊澤輝芳氏(代理)以上8名の方々に御臨席願ひ、祝辞を頂いた。

県住宅部長・奥原氏は、祝辞の中で日頃の住宅行政参加に感謝の意を表し、昨今の建築関係業界の停滞を知事をはじめ関連行政機関で憂慮している旨を述べた。さらにその施策として、今年度より新たに「パワーアップ信州」と名づけた5ヵ年計画に基づいて家づくり資金の融資制度を発足させ、また昨年に引き続き増改築フェアを開催する等、住宅事業の推進を重点にした県政をすすめていく所存であること、そしてその為には引き続き協会と協会会員の協力が必要である旨を述べた。

続いて、衆議院議員・若林正俊氏、日本建築設計監理協会連合会、連合会各単位会等から多数頂いた祝電が披露され終了となった。出席者総数36名の盛会であった。

所員部会運営協議会開かる

6月23日午前11時より長野市の長水会館「多津美」において所員部会運営協議会が開かれた。

この協議会は、今年度の総会において決議された「所員部会」(仮称)設置に基づいて開催されたもので、各正会員事務所所員が一同に会し、本会設置の必要性と運営方針、それに伴う具体的な方向と方策を探る目的で持たれたものである。

当日は、ちょうど公共物件発注の時期とも重なったため、各所忙しい状態の中であるにもかかわらず、県下各地から中堅所員が集まり、オブザーバーとして出席した正・副会長を交えて3時間程、設計業界をめぐる山積みされた諸問題について意見を交換した。主に職能問題と入札問題に終始したが、「日頃、仕事や所長を通じて所々の不条理を感じてはいるが、こうして他の事務所の所長や所員のみなさんと意見を交わしてみると、改めて諸問題の重要性を認識させられる」という感想が、一同共通のものであった。

また、「既設の技術交流会と新設される所員部会等の場で他の事務所の所長・所員達と交流を持つことによって、相互理解のもとに職能意識確立を果たすためのパワーが培われることだろう」という意見や、「他にあまり例のない所員部会を魅力のあるものにしたが、そのためには組織化が必要ではないか」等の意見を経て、具体的な活動開始のための発足式を8月下旬に行いたいという要望が出された。

最後に、宮本会長が再度職能問題に関した意見として「種々様々な資格がある中でも、資格を持っているながら確認業務が必要なものは建築士のみである」と遺憾の意を述べた。また、南島副会長が「協会に加入しても仕事が取れる等のメリットがないから」との協会未加入者の意見に対して、「仕事を取る方は会を通して自らの力で培うもの。メリットは自分で創るものである由、メリットが無ければ入会しないという意見は疑問だ」と述べ、一同深く納得した様子であった。

第6回技術交流会開催される

第6回目の技術交流会が7月6日、滝澤家具㈱と中信電機㈱の担当で開催された。今回は両社とも東京都内での見学会となった。

中信電機㈱担当の見学場所は、㈱東芝の新本社ビル。芝浦に建つ地下3階、地上40階のこの東芝ビルディングは、今年4月にオープンしたOA機能を満載した先進オフィスビルである。分散処理コンピューター約1,000台のOA機器群と、光ファイバーを中心とするローカルエリアネットワーク(LAN)から成るOAシステム、また、それら以外の諸システムは、見学者の大きな関心に応え得る最新の技術の粋を表わしている。経営の効率化とOA化計画の一参考例としても充分な見ごたえであった。ビルの眼下に広がる東京湾や遙かな房総半島の借景がシステム化されたビルに潤いを与えており、心が解き放たれる空間も持ち合わせているようだ。

滝澤家具㈱の案内先は、天童木工㈱とオリエンタルカーペット㈱のショールーム。共に本社・工場は山形県にあり、近代技術を取り入れた伝統産業の一環を成しているメーカーである。

天童木工㈱ショールームでは、各々の木材の性質を生かした集合材の利用方法と「曲げ」の技術、さらに丁寧な造りに特色が感じられた。伝統をふまえたシンプルな機能美は、木の肌に対する我々の郷愁を呼びますと共に、使い易く座り心地の良い椅子や、立て掛けても壁面に平行に納まる座卓等に機能



▲BUILDACの説明に注目する全員

的な満足感が得られる思いがする。家具・調度の展示場を廻るうち、しばしのくつろぎを得たような離れ難い場所となった。

次の訪問先のオリエンタルカーペット㈱では、手織織造の見事さに参加者のため息が続出。原毛輸入から紡績・染色・化学洗濯(100年の使用に耐えうる適格品かを、化学溶液に浸し摩擦を繰り返して実証)まで、全行程を自社管理の元に誕生する。3000余色にのぼる微妙に異なる色調が完成品に重厚な気品を漂わせ、迎賓館赤坂離宮・皇居新宮殿等、国内はもとよりバチカン宮殿やサウジアラビア王国からも注文を受けるとの説明にうなづける芸術性を持った製品群であった。ちなみに、一般住宅では長野県が最多供給県とのことである。

3社ともに趣きを異とする見学内容で、短い時間が惜しまれた充実した見学会であった。総勢20余名のうち設計事務所所員の参加者が多いのも印象に残った。

第5回技術交流会開催

4月14日(出)長野市の山王共済会館において、第5回技術交流会が開催された。担当は鐘淵化学工業㈱と綿半鋼機㈱で、鐘淵化学工業㈱は塩ビサッシ「エクセルウィンドー」の商品説明と、外断熱改修GP工法の説明会を開催した。

「エクセルウィンドー」とは、熱伝導率がアルミの約1/1000という素材で断熱効果は無論のこと、結露や凍結の防止と高い気密性をもつ完全引き違い方式の窓で、西独レハウ社との技術提携によって誕生した製品とのこと。スライドによって製品と用途の実際が詳しく説明され、興味深かった。

また、「カネライト壁外断熱工法」は、「カネライトフォーム」と呼ばれるGPパネルの現物見本が出席者に配られ、GP工法・VS工法それぞれの説明と独自の結露防止・断熱性能効果を強調した。

綿半鋼機㈱は、取り扱い商品「フジエース(現場打ちの軽量気泡コンクリート)の説明会を開催、メーカーの(株)富士ブロックセンターより講師が出席、専門的な説明がなされた。普通コンクリートの $\frac{1}{4}$ ~ $\frac{1}{2}$ という軽さに加えて吸音性と断熱性を強調、(株)建材試験センターにおける床衝撃音遮断性能試験の成績書等が参考資料として配布された。施工例は北海道がトップであるが長野県も次いで多く、広く取り扱われている様子である。

30余名の出席者から両社の説明に対して前回にも増す質問が相次ぎ、充実した内容の交流会であった。

ストックホルムを訪ねて

小松建築士事務所 小松 蒼 一

かねがね北ヨーロッパの都市、特にストックホルム・オスロ・ヘルシンキを訪れてみたいと思っていたところ、今年のゴールデンウィークにほんのかけ歩きで旅行する機会に恵まれた。今回はストックホルム（スウェーデン）を紹介する。

スウェーデンは正式の国名をスベリイェ王国といい、スカンジナビア半島の東北部に位置している。バルト海に面し「森と湖の国」といわれるだけあって天然資源には事欠くことがない。生活水準の高さや人間性の豊かさはこの現れか。8～10世紀にかけて活躍したバイキングでも有名で、あちこちでその習慣を身近に感じとることができる。北ゲルマン系の人種は長身のうえ美人が多いという。

北緯60度に位置するストックホルムは、幾つもの島から形成された街で、都市計画においては海との関連を主に取り入れ、バルト海の小島とメラーレン湖の小島とを橋で結ぶなど、自然と調和した都市美を造っている。また、ノーベル賞や国際会議でも有名で、国際都市としての性格を合わせ持つ。

17世紀に首都となってから都市整備が進められたようで、旧市内の中心地に保存された古い市街地は彼らの人間性を如実に現したものと見える。市庁舎は、リングダムホルメン島の西方の小さな島リングスホルメン島の一角にある。1923年に完成した建物で、メラーレン湖に面した高塔

を持つ優雅で豪荘なその威容はヨーロッパ最高の建物とまでいわれている。メラーレン湖に面したロジア（柱廊）は、遠くギリシャ・ローマ時代の宮殿を思わせる。ロジアから石畳の中庭に立つと、赤レンガの壁の上と緑青色の屋根の上に北国の光の空が広がる。どの角度からも彫刻が顔を出している（ひとつひとつの彫刻には長い歴史物語が秘められているという）。

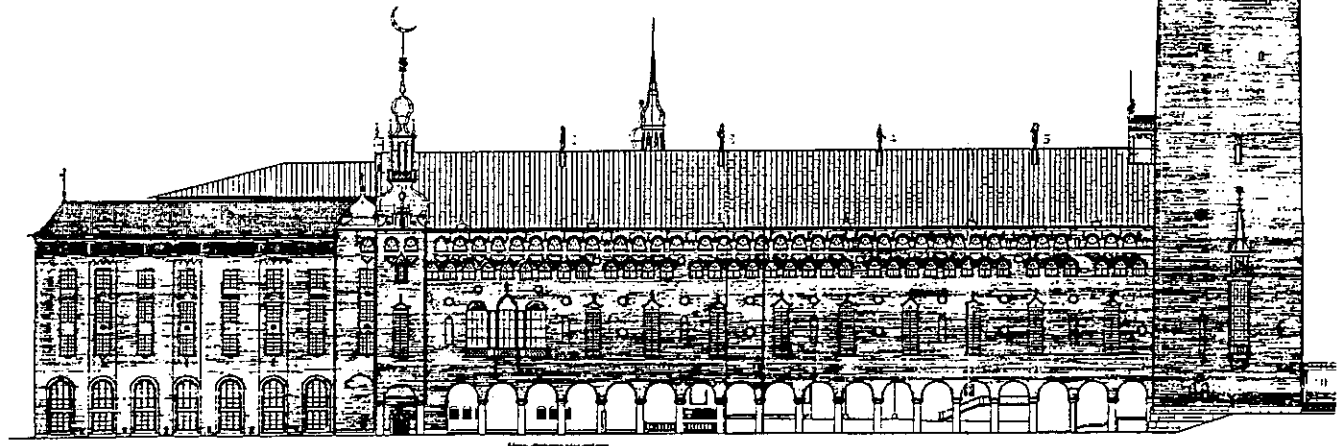
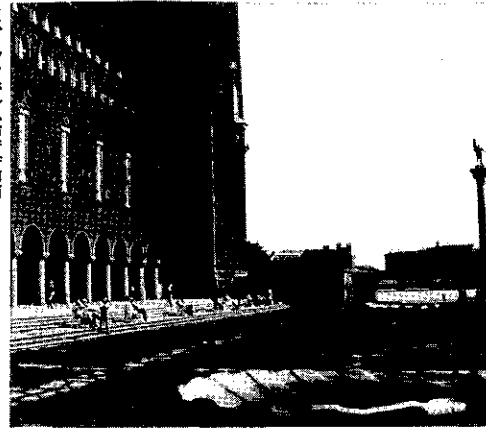
二階には、ノーベル賞受賞式や祝賀会が開かれるという、黄金のモザイク壁画がある大広間があった。10m近い高さの天井のすぐ下には「THE SEVEN AGES OF MAN」の有名な「ゆりかごから墓場まで」の壁画があり美しい。150人収容の議場は木造トラスの見える天井を持ち、すべてが木彫である。赤いじゅうたんと木製モザイク壁という、森の国の議場らしい取り合わせが印象的だ。高さ100mの塔を木製のエレベーターで登ると、市内のパノラマはすばらしい。正午と18時にパイプオルガンが鳴り渡り、面白いセントジョージ像の仕掛時計が動き出す。

この市庁舎は正にこの国の歴史の縮図の上に現代の建物を造り、その内部でさまざまな人間活動が営まれているのには全く驚いた。公共建築にその地方の文化や歴史を取り入れる事の必要性を痛感し、豊かな建築の何たるかを見た思いがした。

市内を走る車はボルボ・ベンツ、その中を若者の乗るカワサキ・ホンダ・ヤマハの二輪車が通り抜けていく。「あの」という声にびっくりして振り向くと、東洋系の青年が立っている。ストックホルム医大に留学中の広島県出身の青年だった。久しぶりの日本語の会話に弾みがつくうちに、彼の住居をみせてもらうことになった。4階建ての共同住宅で、彼は2階に住んでいた。居間は30㎡、寝室20㎡、DK15㎡、バストイレ

10m'、天井はいずれも3mぐらい、古いが格式の高い住居だった。電気代を除きすべて込みの家賃は日本の半額ですむという。もちろん、暖房費・給湯費は家賃に含まれる。外周壁は20cm厚のRC壁で、この内側にレンガを長手に断熱材として使っている。木製の二重窓は90cm幅で高さが2mぐらい、室内の照度分布は極めて良く快適な住まいであった。住む人が家具・内装を思い思いにアレンジするので、各戸とも変化に富んでいるという。
(つづく)

▶ストックホルム市庁舎南面



ストックホルム市庁舎南玄関図

塩田平—鎌倉文化の遺跡(二)

上田市観光課

上田地域には国・県指定の木造建造物が六棟あるが、このうち四棟は塩田平に集中している。すなわち、安楽寺八角三重塔(国宝)、前山寺三重塔(重文)、中禅寺薬師堂(重文)、西光寺阿弥陀堂(県宝)であり、鎌倉文化に関する建築遺構はこのうち三棟といえる。その個々についてみたい。

安楽寺八角三重塔(上田市別所温泉)

鎌倉文化の名残りをとどめる遺構として、まず第一にあげられる建造物は、何とんでもこの国宝塔であろう。通常の塔の平面は四角形であるが、この塔は現存する我国の塔では唯一の八角形をしており、多分に中国的発想から生まれた建築といわれている。

屋根は一見すると四重になっているのに、どうして三重塔だろうかという疑問がまず生ずるが、建築構造上では一番下層にあるものは裳階(ひさし)であるという。また、各層の軒裏から扇の骨のように放射状に突出した垂木のさまや、その下部にある複雑な組物は柱の上にあるばかりでなく、その中間にも配置され、びっしりとした感を呈している。こうした種々の特徴を有した塔の様式を「禅宗様」とよんで、日本的な「和様」と区別しているのである。ところで、この塔は鎌倉時代末期の建築様式を示す遺構との見方が一般的である。とすれば、わずかな期間ではあったが、塩田に居を構えた塩田北条氏の力によって建てられたとみるのが妥当なところといえよう。

なお、この塔から直線距離で数キロの位置にある青木村の大法寺三重塔は、純粋な和様建築として知られ、やはり国宝に指定されている。

前山寺三重塔(上田市東前山)

塩田城跡に隣接する前山寺(真言宗)は、その祈願寺としての性格をもった寺であったが、塔は境内の一段高い位置に建てられている。「未完成の完成塔」と呼ばれるこの塔は、二・三層に通常みられる窓や扉あるいは廻縁がなく、まだ建築途中にある塔ともみられる。しかし、見た目には少しも不安定さを感じさせず、かえって完成された調和のとれた塔であるためこのように呼ばれたのである。

平行に突き出した垂木の様や組物の手法は明らかに和様であるが、柱の上部にとびだした木鼻の彫刻は禅宗様の特徴といえる。このように、本塔の細部の手法は和様と禅宗様が混じりあったいわゆる折衷様式で、時代的には室町時代初期の様式とされている。しかし、塩田平における歴史的背景からみてやはり、塩田北条氏の力による最後の建造物とした方が説明がつくのである。

中禅寺薬師堂(上田市西前山)

鎌倉時代初期と推定されるこの堂は、中部日本最古の建築遺構として知られている。建物は方三間の間取りを有し屋根を中央に集めた、いわゆる方形造の形態をとるものである。堂の周囲に切目縁をめぐらし、柱は直面取りの角柱とし、さらにその上部に身形肘木を乗せ、一重の太い垂木を平行に並べた構造をとる。堂内はその中央を円柱の四天柱で区切って内陣とし、背後を来迎壁でさえぎっている。内陣の須弥壇は作り付けで、古様を示す形のよい格狭間をはめ、本尊の阿弥陀如来(重文)を安置する。

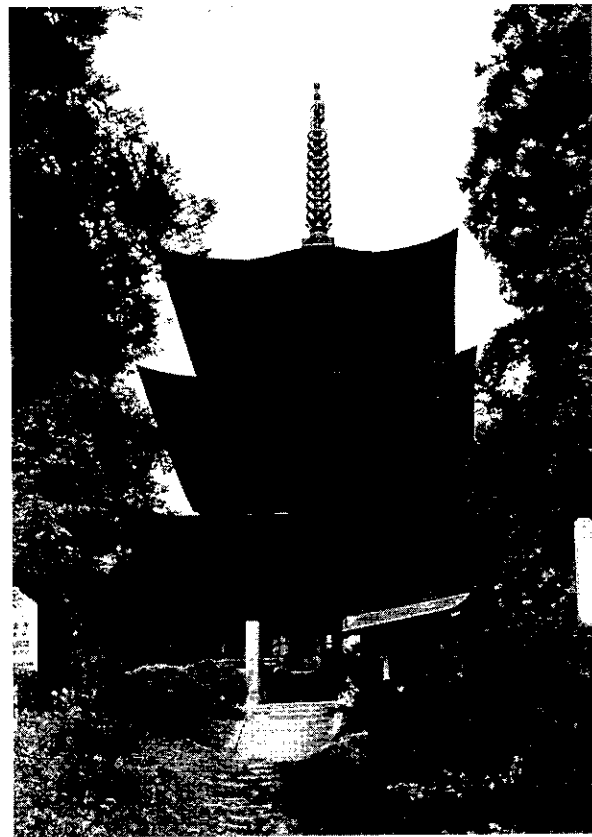
このような形状をもつ堂は、平安時代末期に流行した阿弥陀堂建築の

様式といわれており、本薬師堂もその頃の建築とみられていた。しかし、昭和28年の解体復元修理の結果、前述したように鎌倉初期の建立ということになったのである。とすれば、惟宗（島津）氏が塩田の地頭に任命された頃より、遅くともこの地が「信州の学海」といわれた頃までに建立されたものとみられるのである。



▲中禅寺薬師堂

◀前山寺三重塔



▲大法寺三重塔

◀安楽寺八角三重塔

会員事務所作品紹介

(株)エア・ハイツ建築設計事務所

所長 斉藤英彦

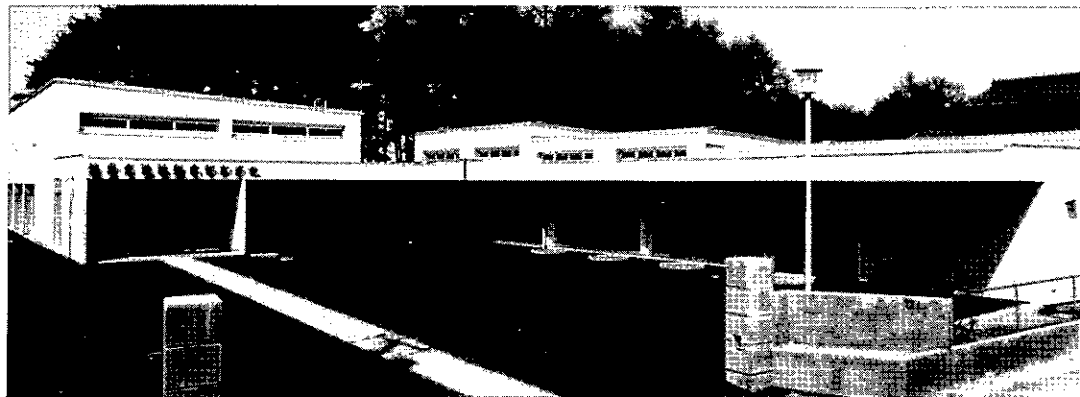
長野事務所 佐久市猿久保780-6

☎02676-8-2311代

東京事務所 新宿区市谷左内町321GM5B

市谷台マンション

☎03-267-2091



佐久市総合福祉センター

建設地／佐久市老人福祉センター隣地 延床面積／791㎡ 施工者／大進建設、中川電気、小林設備工業 工期／1977年8月～1978年3月

ホールをメインに設計した障害者対象の建築（佐久市福祉協議会発注）。

▲川西消防署



川西消防署

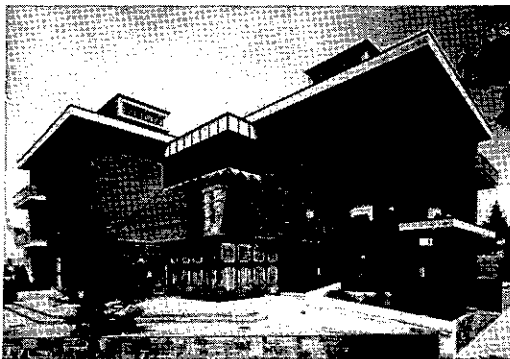
建設地／北佐久郡望月町協和 延床面積／1,604.9㎡（庁舎棟RC造3階建て1,505.7㎡、訓練棟RC造5階建て92.45㎡その他） 施工者／竹花組、佐久電気—光設備工業 工期／1982年8月～1983年3月

新設されたバイパスに面し、望月警察署（尾島建築事務所設計）と並んで建設された（佐久広域事務組合発注）。

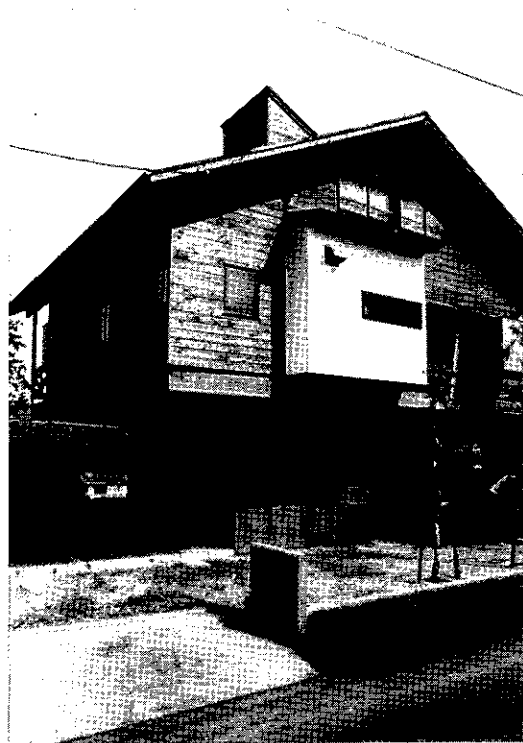
佐久市立近代美術館

建設地／佐久市駒場公園内 延床面積／RC造3階建て2,345.7㎡ 施工者／熊谷組-ナカジマ建設共同企業体、中川電気工業、川本工業-光設備工業共同企業体 工期／1981年8月～1982年8月

この作品は、昭和56年2月に行われた設計競技（丹下健三、武基雄その他の先生方の審査）で当選したもの（佐久市発注）。



▲佐久市近代美術館



萩原別荘

建設地／南佐久郡白田町 延床面積／139.9㎡(1階35.2㎡、2階79.8㎡、3階24.8㎡) 施工者／大進建設、柳沢電気、光設備工業 工期／1981年10月～1982年3月

東京の歯医者さんが、奥さんの実家に近い所へ建てた家族全員の休養施設です。子供達には3階になる吹抜の一部に出来た小屋裏の大部屋が好評のようです。



▲渡辺邸

渡辺邸

建設地／南佐久郡小海町 延床面積／186.3㎡、1階97.7㎡、中2階(車庫の上)17.8㎡、2階70.8㎡ 施工者／新津組、内藤電機、光設備工業 工期／1982年4月～12月

木造2階建ての普通の和風住宅だが、サッシは2重でペアガラスを使用して重厚な暖かい空間を創り

▲市川屋

出している。床暖房と附加暖房(ファンコイル)を併用した完全暖房で長い冬期生活を確保している。庭も出来上がり、しっとりした雰囲気につつまれた落ち着いた建物になった。

市川屋

建設地／南佐久郡佐久町高野町 延床面積／337㎡(木造平屋、日本瓦寄棟葺) 施工者／自営で大工は渡辺雅紀 工期／1980年11月～1981年6月

市川信さんという研究熱心な調理士と四つに組んで完成した建物で、設計完了までに一年間を要した。うどんやそばを主体とした和風料理店で、千曲川に掛かる宿岩橋(八十歳橋)を眺める河原そばにあり、夏にはビールを広い庭で楽しむという大変恵まれた環境にある。伸び伸びと設計出来て施主にも喜ばれた。

テクニカルシート

東芝ビルディング

オフィスワークの生産性向上をめざして

（株）東芝 長野支店 牧 照久

このたび、芝浦に建設中でありました東芝ビルディングが完成し、弊社の本社部門を集結する運びとなりました。ひとえに皆様方の日頃のご支援の賜と厚く御礼申し上げます。

新本社建設に当たりましては、積極的かつ効率的経営のベースであるオフィス機能の効率化を主眼に検討を重ね、実現を図ってまいりました。中でも、分散処理コンピューターなど、OA機器と光ファイバーを中心とするローカルエリアネットワークからなるシステムは、皆様方の今後のOA計画にも一つの参考例としてお役にたてることを念願したものです。

また、エネルギー管理・防災システム・昇降機等高層ビル設備におきましても、弊社のエネルギーとエレクトロニクス（E&E）技術を結集し、経済的で安全なオフィスの実現を目指しました。

★LAN（ローカルエリアネットワーク）

本社ビルには、縦に貫く光ファイバーケーブルと横に伸びる同軸ケーブルからなる「情報の伝送路」

が張りめぐらされている。同軸ケーブル（LAN/BUS）には、分散処理コンピューターと画像情報ファイル装置等のOA機器が接続。光ファイバーケーブル（LAN/RING）はこの10倍の超高速伝送路を持ち、LAN/BUS間の複数通信を行う。

★BUILDAC（ビル設備電算機制御システム）

災害からビルを守り、ビル設備を効率的に運営する。ディスプレイなどが組み込まれた総合監視盤では空調・エレベーター・照明・電力系などの状態をグラフィカルに表示し、タイムリーに集中管理する。

エネルギーを効率的に供給する

受・変電・配電・非常用発電装置

ビル内で使用する電力を効率的に配分する。例えば、変電装置ではOA機器と照明を適切な電圧に設定する等、省エネを追求する。また、万一の場合に備えて、自動的に作動する非常用発電装置が設置されている。

快適な環境をつくる

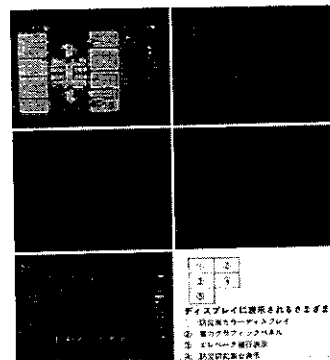
省エネ型照明・空調・エレベーターシステム

ビルの各フロアは、人や機械といったさまざまな条件を持つ。東芝空調設備は、これを自動的に探知して最も快適な環境を保てるよう温度をコントロールする。また、エレベーターは朝・昼・夕方などでこみ方が異なる。エレベーターシステムはコンピュ

ーターがこれを把握し、自動的にプログラムに組み込んで、待ち時間の少ない効率的な運行をする。地震の時には、初期微動であるP波を検出して最寄階に停止する。



エネルギー消費の状況を即時に把握し、有効利用するための自動検知システム、車の出入管理を効率化する駐車場管理システムもBUILDACに連携しています。



ディスプレイに選択されるさまざまな画面
① 総合監視画面
② 電力消費画面
③ エレベーター運行状況
④ 防災対策画面

成形合板 —曲線と強度と—

滝澤家具(株) 笠井 邦夫

成形合板とは……

曲げ加工しやすい様に、強度を出すために何枚かの木材の薄い板に接着剤を塗布し、重ね合わせて型に入れ加圧成形すること。

成形合板の製作

一、**単板の製作**——単板は厚さ0.3~3mmぐらいの薄い板で、製造法によってロータリー単板とスライス単板がある。

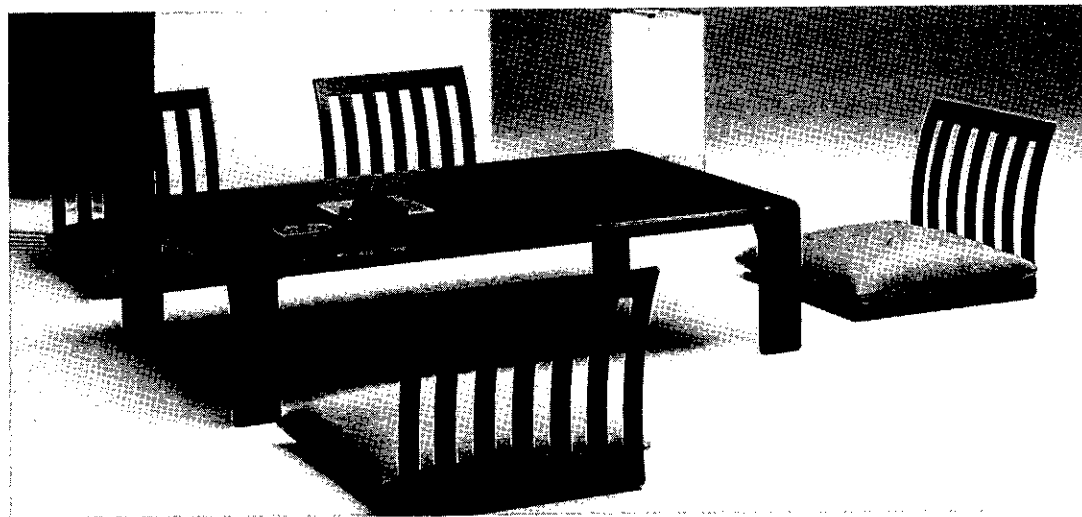
▶ロータリー単板=木材を回転させてナイフをあてむきとったもの。

▶スライス単板=木材を固定してナイフでスライスしたもの。

二、**乾燥**——含水率8~15%に単板を乾燥する。

三、**接着剤塗布**——今日では、合成樹脂技術の進歩により、目的に合ったものが使用できる。一般には尿素樹脂を主体とした接着剤を使い熱硬化させる。

四、**型の中でプレス**——型治具は、木型と金属型がある。木型はラワンやブナの合板を積層したも



のと、木枠組みのものがあり、ロッドとの関係等で決定する。金属型はアルミ合金の鋳物型が多く、耐久性に優れているが高価である。加圧は、メタルバンド・エアバッグ、さらにバキュームによる方法等があるが、油圧が一般的。加圧程度は平板で1cm²につき5kg、曲げで7kgから10kg、コマ入れ成形で20kg位である。

五、**加熱**——型の材質によって加熱方法は異なる。木型の場合は高周波加熱や低電圧加熱、最近では電子加熱の電氣的加熱を用い、金属型の場合には蒸気および電気ヒーターで直接金型を熱する方法をとる。

▶高周波加熱——高周波とは1秒間に10⁷~10⁸回方向を変える電流で、空気・その他絶縁物の中を容易に通過し、その絶縁物を発熱させる。

▶低電圧加熱——成形品の表面に極板を当てて成形、直接20ボルト程の電流を流して極板を加熱する方法。

六、完了

成形合板家具の特色

- 1)、均一の材質が得られる。
- 2)、ムク材より大きな強度がある。
- 3)、継目が少なく構造的にも強度が得られる。
- 4)、断面あたりの強度が強く、細い部材で強度が得られるため、軽くて丈夫な家具が可能。
- 5)、自由なカーブ・曲面が得られるので、身体にフィットする機能的な椅子が出来る。
- 6)、成形時の加熱により、殺虫効果がある。

長野県は「暗」

—東日本連絡協議会総会に出席して—

宮本 忠 長

東日本建築設計監理協会連絡協議会（川島隆太郎会長）の59年度総会が4月26日、青森県弘前市の弘前プリンスホテルで各県加入団体全員参加のもと、青森県土木部坂本次長、成田弘前市助役ら多くの来賓を迎え盛大に開催されました。

協議会は15年前、新潟県の堤さん、秋田の小畑さんが雪の降る寒冷地で設計監理をしている建築家を集めて、同じテーブルを囲んで共通の問題・苦しみ・悩みについて考える交流の場を作れたら—という発想から誕生したもの。無論、任意団体であり、発足のきっかけは国際ロータリークラブに似ていますが、少なくとも「遊び」の集まりではなく、氷雪の問題と真剣に取り組んでおり、また、地方での建築家の位置づけ、職業人としての評価等々の如何あるべきかを考え、気候風土の似ている他県の仲間との情報交換・相互に助言を行う—など、この協議会は日本でも数少ない“真面目”な集団といえるでしょう。

協議会総会では、58年度事業報告・同収支決算・監査報告承認、59年度事業計画案・同収支予算案の承認、また各単位会提出議案について審議されたほか、岩手県建築事務所協会（久慈次男会長）の正式入会、山形・宮城の両協会が準会員として参加すること等が承認されました。

注目された単位会提出議題では、川島隆太郎会長（青森県建築設計事業協同組合理事長）が各単位会の実態を「明・暗」で表現「長野県は設計報酬・設計者選定などの点から“暗”の部類に属し、青森・秋田・新

潟はこの点“明”と言えるようです」と述べ、長野県の状況において他県との隔たりが印象付けられました。

川島会長のこのことは、私達にとって意外な言葉ではなかったものの、その現実に対して切実に心が痛む思いでした。私達は「暗」のなかで免疫になり、「暗」がごく当然であるかのように考えている節があることを実感した次第です。「暗」とは無論、発注型式・報酬・建築家の地位の三点の状況についてであり、「暗」を「明」にするには自力で努力する以外にないことも知らされました。

総会終了後、恒例の懇親会・弘前城跡のお花見をしました。来年は岩手県での開催を楽しみにしています。

東日本建築設計監理協会連絡協議会の総会出席者は次のとおり。

- ◎青森県建築設計事業協同組合——川島隆太郎理事長、神圭介副理事長ほか20名。
- ◎(株)岩手県建築士事務所協会——久慈次男会長、高橋敏副会長
- ◎(株)秋田県建築士事務所協会——若松律衛会長、田中寿一（会員）
- ◎秋田県建築設計事業協同組合——山本悦郎理事長、丹波孝次監事
- ◎新潟県建築設計監理協会——渋谷嘉雄会長、相田善三郎副会長、小林貞夫副会長
- ◎新潟県建築設計協同組合——三富謙二理事長、深尾昭三郎副理事長、横山信生副理事長
- ◎(株)山形県建築士事務所協会——林京二副会長、遠藤稔（会員）
- ◎(株)宮城県建築設計事務所協会——柳沼昇副会長
- ◎長野県建築設計監理協会——宮本忠長会長、尾島正吉副会長、飯島和夫（会員）、笠井邦夫（会員）

※ずいひつ

オジジの鼻と私の鼻

常 田 富士男

輪廻一合掌、オジジの鼻と私の鼻。目鼻だちはよくない。

私のダンゴ鼻は、酒呑みの席で笑えばなしになってよく登場する。大昔から「鼻」の話は色々沢山あって、感動的に小説にもなっている。しかし、私の鼻は、そんなすばらしい個性的なモノではない。小鼻の肉が厚く、他人より大きい。バランス的に少し気になる程度のモノである。

その鼻の生まれ在所は、長野県下高井郡木島平村である。3歳の時に木島を出てから、東京・横浜・静岡・九州と移り住んだ。そして数年前まで、生まれ在所を見ず知らずに暮らしてきた。昭和18年の夏、私が5歳の時、戦場で病気になった父が帰ってきた。が、すぐ翌年の夏に死んだ。そして敗戦一長く大変だったと思うが、私が高校を卒業してひとり上京することになるまで、母は信州の思い出をあまり口にしなかった。私は結婚して、父の足跡が妙に知りたくなくてふる里の事情を調べ始めた。長野は日に日に近くなる。私は妻をつれて長野駅から木島平へ行った。父の在所である。40年振りのことだった。

85歳を過ぎた、たった一人の父の兄、オジジに初めて会った。幼い記憶の父に良く似ていた。ニコニコ笑うだけであったが、なにか私の胸にたまっていたものが、どんどん洗い流されていく。

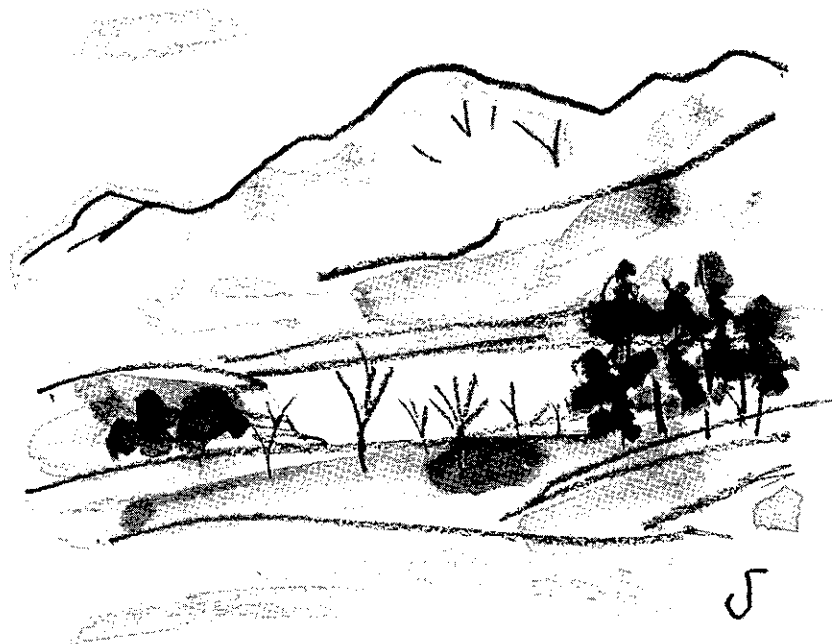
記念写真を撮ることになって整列した。シャッター係の妻が突然！
「あなたの鼻はここにあったじゃないですかー」

と大きな声をはりあげた。

鼻のことなど忘れていた私を、オジジはよくよく見た。そして全員がオジジの鼻と私の鼻を見て大声で笑った。その笑い声は、会えてよかったよかったと言っている。何故かワケノワカラナイ程の涙が流れた。

そのオジジも数年前に亡くなった。あまりにも良く似た目鼻だち、長いこと宙ぶらりだった思いが、その時一瞬のうちに消し飛んだ。如実知見一ありのままを見ること。私の顔にはダンゴ鼻、息子の鼻にも私によく似た鼻がある一合掌。

(ときだ・ふじお/俳優)



佐野秀二・絵

太陽熱利用と省エネシステム

- ソーラーシステム
- 温水式床暖房システム
- 温水式融雪システム
- 産業用省エネシステム
- 空調・給排衛生システム

——設計・施工——



(社)ソーラーシステム振興協会会員・日本太陽エネルギー学会会員
日本床暖房工業会会員

中部クリエイト工業 株式会社

本社／長野市大字村山537-1 ☎(0262)98-2511 傳 380
東京支店／東京都台東区東上野3-39-10 光和ビル4F ☎(03)835-7101 傳

- 札幌営業所 ☎(011)231-1975 ●高崎営業所 ☎(0273)63-0747
- 松本支店 ☎(0263)27-0878 ●伊那営業所 ☎(02657)78-8836
- 東信営業所 ☎(0268)25-2602 ●新潟営業所 ☎(0252)25-0431

業界 Channel

中央から

「建築設備士」資格創設 年度内に試験実施

建設省住宅局がこのほど明らかにしたところによると、建築士法一部改正の一つの柱であった「建築設備技術者の資格創設」について、年度内にも「建築設備士(仮称)」の選抜試験を実施する方針が明らかになった。これについては8月中旬に告示するとともに、日程が詰められることになる。また建設省では「これによって業務独占が生ずることはない」としながらも「建築士を側面からささえる建築設備技術者の地位の明確化が図られる」と指摘している。

「住宅の不燃化進む」 総理府住宅統計調査

5年ごとに行っている住宅統計調査(昭和58年)が総理府統計局より発表された。これによると、58年10月1日現在の住宅総数は3865万戸、5年前の調査に比べ320万戸、9・0%の増加となった。しかし増加の推移は48年以降低下傾向にあり、絶対量として充足されてきたことが明らかとなった。構造別では、「防火木造」「非木造」の住宅が急速に増え、不燃化が進んでいることがわかった。長野県内の住宅総数は64万6700戸で、前回より4万9800戸増え、8・3%増となったが、一方空き家数は7万1200戸、前回

より50・5%増と急速に増えていることがわかる。

まちづくり公益信託委員会設置＝建設省 年度内にモデル地区選び基金運用

建設省は公益信託制度による「まちづくり基金」を設立するため『まちづくり公益信託委員会』(委員長・入沢恒横浜国大教授)を設置した。公益信託は、個人や法人が財産を信託銀行に預託してその運用を任せ、配当金を福祉や教育などの公益的事業に活用する制度。

「まちづくり基金」は、地域住民や地元企業からの寄付金をもとに基金を設立、その配当金を①カラー舗装や彫刻・遊具の設置など街路・公園の環境整備②伝統的街並みの保全修復③良好なまちづくりを進めるための調査研究やコミュニティづくり、などの費用にあてようというもの。

同委員会は、今年末までに基金設立のためのマニュアルと助成措置などを盛り込んだ推進方針をまとめる。これを受けて建設省は年度内にも民間によるニュータウン開発が行われた地区、良好な住環境整備を目的として住民が建築協定を結んでいる既成市街地、地区計画制度実施地域などからモデル地区を数か所選び、基金を運用する方針だ。

建築学会賞の該当作なし 学会大賞には谷口忠氏

日本建築学会(小堀鐸二会長)は昭和59年度日本

建築学会大賞と58年度日本建築学会賞の受賞者を発表した。日本建築学会大賞には、谷口忠氏（東工大名誉教授）が耐震工学の発展に貢献した業績に対して受賞。学会賞第二部（作品）では該当作なしとなった。該当作なしとなったのは47年、53年に次いで3回目。「今年度から受注形式が設計入札であった場合は審査対象から除外する、という審査方針が応募作品減の大きな理由」と関係者は話している。

芦原義信氏が芸術院賞受賞 作品は国立歴史民俗博物館

日本芸術院は、58年度の芸術院賞授賞者に芦原義信武蔵野美術大学教授（65歳）を選んだ。対象となった作品は、国立歴史民俗博物館。「建築における正統なモダニズムの継承者として、また理論と実践との調和の優秀さは国際性を帯びた作風とともに、建築界に大きな影響を与えている」と高い評価を受けている。

県下から

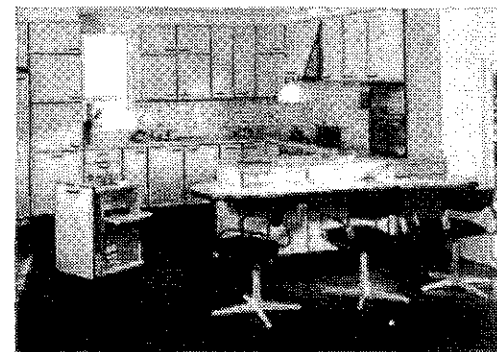
佐々木嘉幸氏を会長に選任 (社)県建設業協会総会

(社)県建設業協会は5月10日、上山田文化会館で第

31回総会を開き、第11代目会長に佐々木嘉幸元副会長を選任した。これは5期10年にわたる長期間会長職に就いていた藤森藤之助氏が、辞意を固めていたことによるもの。副会長には佐々木歌吉、山口順次、松林好助の三氏が再選されたほか、山浦和人氏（竹花工業社長）が新たに選任された。佐々木嘉幸会長は就任後のあいさつで「今日の協会の地位を築いた藤森会長に敬意と感謝を申し上げるとともに、役員一同、『団結』を強固にして協会活動にまい進したい」と抱負を語った。

今年度改選期を迎えた県下建設関連団体と会長名は次のとおり。 (順不同)

- ・県建設産業団体連合会 佐々木嘉幸氏（新任）
- ・県建設事業協同組合連合会 佐々木嘉幸氏（新任）
- ・(社)県建築設計事務所協会 小原常登氏（再任）
- ・県木材青壮年団体連合会 田中国興氏（再任）
- ・県建設労働組合連合会 久保秀司氏（再任＝執行委員長）
- ・県電気工業業工業組合 島崎重雄氏（再任＝理事長）
- ・県電気工事協力会 中沢正男氏（再任）
- ・県建具協同組合 塚田忠一氏（再任＝理事長）
- ・県板金工業組合 徳武英三氏（再任）
- ・(社)県宅地建物取引業協会 村松英信氏（再任）
- ・県管工事設備工業協会 金沢久義氏（新任）
- ・県水道工事業協同組合連合会 小林幸雄（再任）
- ・県溶接協会 井上恒利（再任）
- ・その他



語らいが始まり システム
キッチンによってゆたかな
楽しみが生まれる そんな
キッチンライフって素敵で
すね。

システムキッチン レイクライン
天童木工株式会社
オリエンタルカーペット(株)

——長野県総代理店——

 **滝澤家具株式会社**

バイパス店 長野市北尾張部117 Tel44-0131
緑町店 長野市緑町1453 Tel32-0251

会務報告

59年上期の会務内容は次のとおりです。

- 1月 26日＝設監連第4回理事会開催(建築家会館)。宮本会長が出席。27日＝設監連第5回公益広報(委)。尾島理事が出席。28日＝会報第5号(復刊第1号)発行。同＝第4回技術交流会(飯田市「福本」)。内容は日本ステンレス(株)のP&Pステンレス防水工法・ニッタン(株)の新型受信機の説明。当日は新年会も合わせ実施。
- 2月 18日＝第8回理事会(松本市「サンルート松本」)。内容は①連合会報告②公益広報(委)報告③会計報告と財務状況打合わせ④所員部会の発足について⑤技術交流会59年度プログラム検討⑥その他
- 3月 15日＝設監連第7回公益広報(委)(建築家会館)。尾島理事が出席。23日＝建友会との懇親会(松本市マウントホテル)。内容は官需の受注実態について。同＝会報についての協議会(松本市「サンルート松本」)。29日＝設監連第5回理事会(建築家会館)。
- 4月 14日＝会報第6号発行 同＝第5回技術交流会(長野市「山王共済会館」)。内容は鐘淵化学工業(株)塩ビサッシ「エクセルウィンドー」の商品説明・外断熱改修G P工法の説明。また綿半鋼機(株)「フジエース(現場打ち軽量気泡コンクリート)」の商品説明。19日＝設監連第8回公益広報(委)(建築家会館)。尾島理事が出席。26日＝東日本建築設計監理協会連絡協議会総会(弘前市「弘前プリンスホテル」)。

宮本会長・尾島副会長・飯島会員・笠井賛助会員部会長出席。

- 5月 10日＝第1回理事会(事務局)。内容は①58年度事業、同決算報告②59年度予算、同事業計画③16回通常総会について(役員改選他)。17日＝(社)県建築士会総会(諏訪市「諏訪市文化センター」)。須田理事出席。21日＝県増改築推進キャンペーン実行(株)合同会議(松本市松筑建設会館)。飯島会員出席。25日＝静岡設監「創立15周年記念式典」(静岡市「静岡ターミナルホテル」)。尾島理事出席。
- 6月 5日＝59年度第16回通常総会(長野市「ホテル長野国際会館」)。10日＝設監連第10回公益広報(委)(建築家会館)。23日＝所員部会運営協議会(長野市「長水会館」)。
- 7月 6日＝第6回技術交流会。(株)東芝新本社ビル

O Aシステム見学会(中信電機(株)担当)。(株)天童木工ショールーム見学会・オリエンタルカーペット(株)ショールーム見学会(滝澤家具(株))。

新入賛助会員の紹介

- ◎株式会社イトーキ 担当窓口＝(株)イトーキ長野支店☎380 長野市中御所3—63☎(0262)28—3288 連絡担当係・矢吹元良。
- ◎立山アルミニウム工業株式会社 担当窓口＝立山アルミニウム工業(株)長野事務所☎380 長野市青木島大塚1106〒(0262)84—9565 連絡担当係・織田仁。

(どうぞよろしくお願いたします。)

編集室から

あまり降らなかった今年の梅雨もいつしかあけて、キラキラとした真夏の太陽が輝りつける季節となった。この熱い中、各地で多くの建築が造られていく。冷房のきいた設計室に閉じ籠ってばかりいないで真夏の工事現場に飛び出してみると、建物の生まれる真の姿がみえてくるような気がしてならない。

鉄筋に触ってみると、摂氏70℃以上はあろうか、

あわてて手を離さなくてはならない温度だ。型枠の清掃がすんで散水が行われると、鉄筋は黒光りして生じたように感じる。もう、生コン車が到着して待っている。く体のできあがる時、またひとつの建築の命が生まれるような気がする。

——暑中お見舞い申し上げます。——

長野県建築設計監理協会会報第7号
昭和59年7月28日発行
編集人/小松蒼一 発行人/宮本忠長

発行所 長野県建築設計監理協会
印刷 長野県建設工業新聞社

豊富な経験

確かな技術で

責任施工

(総合建築防水)

坂田工業株式会社

長野市妻科434
TEL 0262-34-3168(代)

優れた製品と技術で
皆様のお役に立ちます!

営業品目

建築設備用機器、上下水道機器
OA、FA機器、昇降機設備、
受変電設備等、販売、設計、施工

株式会社 荏原製作所
株式会社 東 芝
代理店

中信電機株式会社

長野支店 長野市稲葉字母袋沖772番地
☎380 電話(長野)0262(27)1235(代表)
ファクシミリ 0262(27)1636
上田支店 上田市大字古里1991番地
☎386 電話(上田)0268(27)1222(代表)
本社 松本市大手一丁目3-26号

KOKUYO



ボタン操作1つでスペースの多目的
利用が容易に

ココヨ
移動観覧席

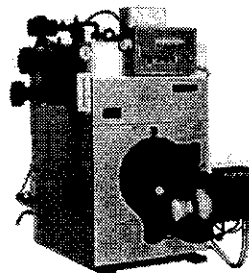
ココヨ株式会社 ☎537 大阪市東成区大今里南6丁目1番1号

アルミサッシュ、カーテンウォール、
型鋼カーテンウォールの総合メーカー

昭和鋼機株式会社
新潟営業所

新潟市笹口2丁目7番16号(和田ビル)
TEL 0252-41-3125
本社 東京都板橋区前野町6丁目1番10号
TEL 03-969-1101

優れた寿命、性能、経済性
鑄鉄製 前田真空式温水ヒータ



MFV シリーズ

- 省エネルギー
- 省力
- 省スペース

70余年の伝統が
生きています。

株式会社 前田鉄工所

取締役社長 前田 市也
本社・工場 長野市吉田4丁目14-8 ☎(0262) 43-0261
営業所 東京、大阪、名古屋、札幌、仙台、広島、長野



長野県建築設計監理協会